

2018年1月23日

## 経済レポート

## 関西のインバウンド消費(2017年10-12月期、2017年暦年)

～2017年の関西のインバウンド消費額は1兆円を突破～

調査部 主任研究員 塚田裕昭

2017年10-12月期に関西を訪問した外国人数は前年比+20.3%の304万人、関西での消費額(インバウンド消費額)は同+25.4%の3,024億円、訪日外国人一人あたり消費額(消費単価)は同+4.3%の9.9万円となったと推計される。

また、2017年に関西を訪問した外国人数は前年比+17.8%の1,207万人、関西での消費額(インバウンド消費額)は同+26.8%の1兆1,584億円、訪日外国人一人あたり消費額は同+7.6%の9.6万円と推計される。

日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、17年10-12月期の日本全国の訪日外国人数は前年比+23.6%の749万人、インバウンド消費額は同+27.8%の1兆1,400億円、一人あたり消費額は同+3.4%の15.2万円であった。

また、2017年の日本全国の訪日外国人数は前年比+19.3%の2,869万人、インバウンド消費額は同+17.8%の4兆4,161億円、訪日外国人一人あたり消費額は同-1.3%の15.4万円であった。

2017年の関西のインバウンド消費額は1兆円を突破し、訪日外国人数では1,000万人を大きく上回った。府県別に見ると大阪府が特に好調であり、訪日外国人数では大阪府単独で1,000万人を超え、インバウンド消費額の伸びも高い伸びを続けている。関西のインバウンド消費は引き続き活況を呈しており、関西経済持ち直しへの寄与が高まっている。

		2017年10-12月期		2017年暦年	
			(前年比)		(前年比)
関西	訪日外国人	304万人	+20.3%	1,207万人	+17.8%
	インバウンド消費額	3,024億円	+25.4%	1兆1,584億円	+26.8%
	一人あたり消費額	9.9万円	+4.3%	9.6万円	+7.6%
日本全国	訪日外国人	749万人	+23.6%	2,869万人	+19.3%
	インバウンド消費額	1兆1,400億円	+27.8%	4兆4,161億円	+17.8%
	一人あたり消費額	15.2万円	+3.4%	15.4万円	1.3%

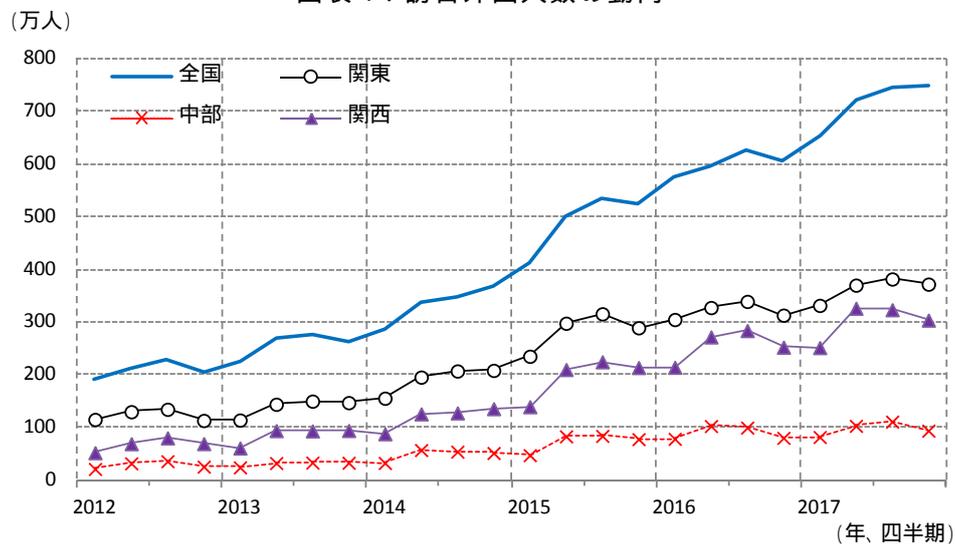
## 1. 2017年10-12月期の関西のインバウンド消費（四半期の動き）

## (1) 訪日外国人数の動向

関西を訪れる外国人の数は、増加基調で推移している。2017年10-12月期の前年比伸び率は+20.3%と2桁増を続けており、増加幅も7-9月期から拡大した。伸び率は3四半期連続で全国を下回ったが、関東、中部よりも高い伸びとなっている。関西、関東、中部といった大都市圏の伸び率が全国の伸び率を下回る状態となっているが、これは、リピーターの増加とともに訪日外国人数が増加する中で、主要な訪問地域である大都市圏の伸び率が相対的に鈍化しているものと考えられる。

2017年10-12月期に関西を訪問した外国人数を府県別に見ると、滋賀県が前年比-2.7%の3.7万人、京都府が同+11.7%の183.6万人、大阪府が同+21.8%の279.5万人、兵庫県が同-0.2%の39.0万人、奈良県が同+19.6%の48.7万人、和歌山県が同+52.0%の9.0万人と推計される。このところの動きでは、大阪、奈良が高い伸びを続けている。

図表1. 訪日外国人数の動向



(出所) 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。全国は観光庁公表値。

図表2. 訪日外国人数の動向（府県別）

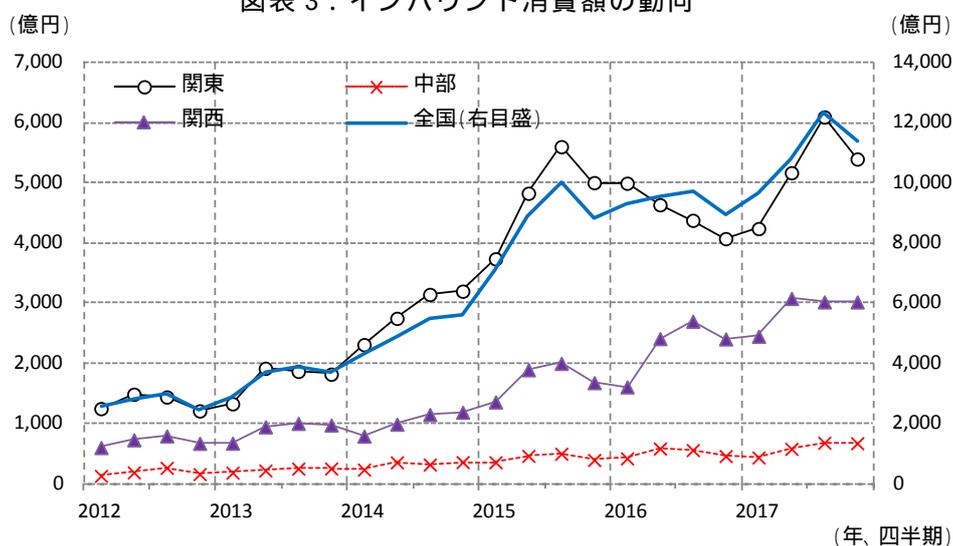
(単位)	2016年		2017年							
	10-12月期		1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期	
	実数 (万人)	前年比 (%)								
滋賀県	3.9	-8.3	3.4	10.9	8.2	99.4	2.7	-28.5	3.7	-2.7
京都府	164.4	21.9	159.9	20.3	202.7	14.5	195.2	4.9	183.6	11.7
大阪府	229.5	20.1	236.2	16.3	295.0	19.4	300.7	15.2	279.5	21.8
兵庫県	36.0	3.2	38.3	7.3	44.1	20.4	39.6	-3.0	36.0	-0.2
奈良県	40.7	30.3	43.6	39.5	55.7	28.6	61.3	22.3	48.7	19.6
和歌山県	5.9	-31.4	5.5	5.7	9.9	9.1	9.5	12.6	9.0	52.0
関西地区	253	18.0	252	17.4	327	20.0	324	13.9	304	20.3
関東地区	314	8.3	332	8.8	371	13.0	382	12.5	372	18.8
中部地区	81	3.0	82	4.4	104	0.4	112	11.3	94	17.0
全国	606	15.5	654	13.6	722	21.1	744	18.8	749	23.6

## (2) インバウンド消費額の動向

2017年10-12月期の全国のインバウンド消費額の伸び率は前年比で+27.8%と高い伸びとなった。関西のインバウンド消費額は同+25.4%と、全国の伸びを2四半期連続で下回ったものの、高い伸びを維持している。

2017年10-12月期のインバウンド消費額を府県別に見ると、滋賀県が前年比-43.9%の7.9億円、京都府が同+13.9%の638.0億円、大阪府が同+32.1%の2,251.9億円、兵庫県が同-34.1%の63.8億円、奈良県が同+39.3%の33.9億円、和歌山県が同+162.6%の28.1億円と推計される。

図表3. インバウンド消費額の動向



(出所) 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。全国は観光庁公表値。

図表4. インバウンド消費額の動向(府県別)

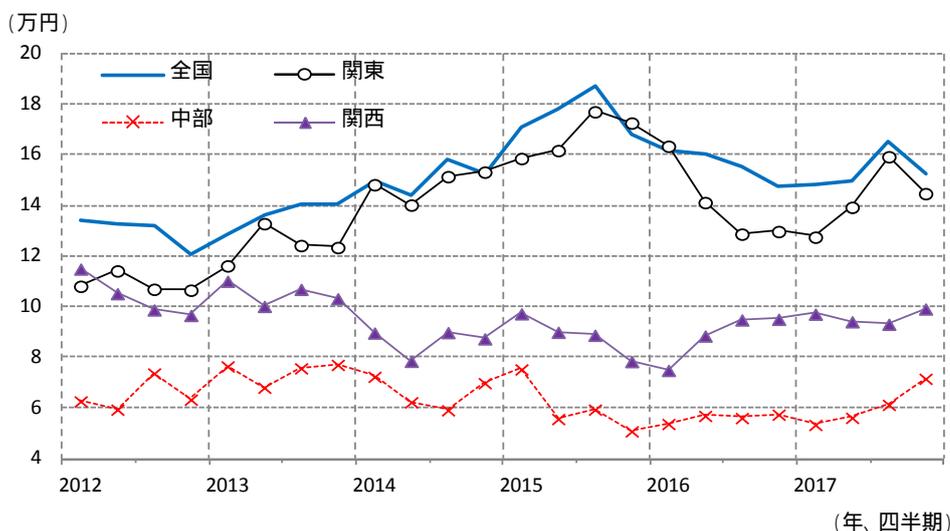
(単位)	2016年		2017年							
	10-12月期		1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期	
	実数 (億円)	前年比 (%)								
滋賀県	14.1	54.2	4.2	-55.0	14.3	57.1	12.0	93.1	7.9	-43.9
京都府	560.0	30.4	416.6	23.6	688.6	11.9	588.0	11.5	638.0	13.9
大阪府	1704.6	52.3	1930.3	64.9	2252.4	36.0	2274.4	13.2	2251.9	32.1
兵庫県	96.8	7.0	67.7	8.1	76.1	9.8	84.7	-5.2	63.8	-34.1
奈良県	24.4	-1.5	28.1	26.7	34.1	-22.8	48.7	-7.3	33.9	39.3
和歌山県	10.7	-5.8	7.1	-38.5	16.7	-21.2	16.6	-15.3	28.1	162.6
関西地区	2,410	43.1	2,454	52.1	3,082	27.6	3,024	11.9	3,024	25.4
関東地区	4,075	-18.6	4,242	-15.1	5,169	11.5	6,095	39.2	5,396	32.4
中部地区	465	16.3	442	3.7	584	-1.0	686	21.6	678	45.7
全国	8,922	1.3	9,679	4.0	10,776	13.0	12,306	26.7	11,400	27.8

## (3) 一人あたりインバウンド消費額の動向

インバウンド消費額を訪日外国人数で割った一人あたりインバウンド消費額（消費単価）<sup>1</sup>は、全国、関東では2016年に低下した後再び増加してきたが足下で低下、関西は概ね横ばい圏で推移している。

2017年10-12月期の関西での消費単価は、前年比+4.3%の9.9万円と2四半期ぶりに増加したと推計される。府県別では、滋賀県が前年比-42.3%の2.1万円、京都府が同+2.0%の3.5万円、大阪府が同+8.4%の8.1万円、兵庫県が同-34.0%の1.8万円、奈良県が同+16.5%の0.7万円、和歌山県が同+72.8%の3.1万円となった。県別の消費単価はサンプル要因によって大きくぶれる可能性があり、特に滋賀県、和歌山県などサンプル数が少ない県の数字を見る際には幅をもって見る必要がある。今回、滋賀県、兵庫県、和歌山県が前年比で大きく変動したが、サンプル要因による変動の可能性はある。

図表5. 一人あたりインバウンド消費額の動向



(出所) 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。

図表6. 一人あたりインバウンド消費額の動向(府県別)

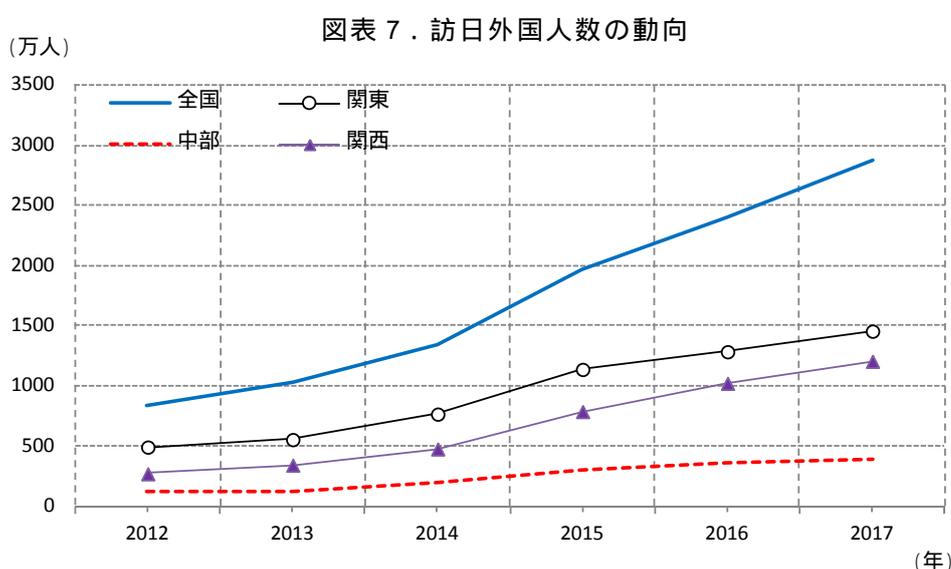
(単位)	2016年		2017年							
	10-12月期		1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期	
	実数 (万円)	前年比 (%)								
滋賀県	3.7	68.2	1.2	-59.4	1.7	-21.2	4.4	170.0	2.1	-42.3
京都府	3.4	7.0	2.6	2.7	3.4	-2.3	3.0	6.3	3.5	2.0
大阪府	7.4	26.8	8.2	41.7	7.6	13.9	7.6	-1.7	8.1	8.4
兵庫県	2.7	3.6	1.8	0.8	1.7	-8.8	2.1	-2.2	1.8	-34.0
奈良県	0.6	-24.4	0.6	-9.1	0.6	-39.9	0.8	-24.2	0.7	16.5
和歌山県	1.8	37.4	1.3	-41.8	1.7	-27.7	1.8	-24.8	3.1	72.8
関西地区	9.5	21.2	9.7	29.5	9.4	6.3	9.3	-1.8	9.9	4.3
関東地区	13.0	-24.8	12.8	-21.9	13.9	-1.3	15.9	23.7	14.5	11.5
中部地区	7.4	13.2	6.7	-9.8	6.0	-11.2	5.6	-5.9	6.1	8.6
全国	14.7	-12.2	14.8	-8.5	14.9	-6.7	16.5	6.6	15.2	3.4

<sup>1</sup> 地域別消費単価はパッケージツアーに含まれる国内収入分を加味したMURCの推計値であり、観光庁「外国人消費動向調査」の消費単価とは異なる。

## 2. 2017年の関西のインバウンド消費（暦年の動き<sup>2</sup>）

### （1）訪日外国人数の動向

2017年に関西を訪れた訪日外国人数の前年比伸び率は+17.8%（1,207万人）となった。2016年の伸び率に比べると縮小し全国の伸びを下回ったものの、依然高い伸びを維持しており、関東、中部に比べて高い伸びとなっている。府県別に見ると、滋賀県が前年比+21.9%の18.1万人、京都府が同+12.3%の741.4万人、大阪府が同+18.2%の1,111.4万人、兵庫県が同+5.9%の158.1万人、奈良県が同+26.5%の209.3万人、和歌山県が同+18.4%の33.8万人と推計される。2017年の伸び率は関西では奈良県が最も高かった。また、訪日外国人数では、大阪府が1,000万人を突破した。



（出所）日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。全国は観光庁公表値。

図表8. 訪日外国人数の動向（府県別）

単位	2013年		2014年		2015年		2016年		2017年	
	実数 (万人)	前年比 (%)								
滋賀県	7.2	70.9	10.1	40.3	12.9	28.0	14.8	14.7	18.1	21.9
京都府	196.2	35.5	294.1	49.9	481.8	63.8	660.4	37.1	741.4	12.3
大阪府	260.1	29.3	373.9	43.8	716.8	91.7	940.5	31.2	1111.4	18.2
兵庫県	64.1	35.4	82.9	29.3	129.2	55.8	149.3	15.6	158.1	5.9
奈良県	45.6	60.3	66.3	45.4	103.3	55.7	165.4	60.1	209.3	26.5
和歌山県	13.5	58.2	19.7	46.1	23.4	18.6	28.6	22.2	33.8	18.4
関西地区	345	26.3	479	38.9	790	64.8	1,024	29.7	1,207	17.8
関東地区	557	12.6	768	38.0	1,140	48.3	1,287	12.9	1,457	13.3
中部地区	125	7.1	198	57.9	294	49.1	363	23.3	392	8.0
全国	1,036	24.0	1,341	29.4	1,974	47.1	2,404	21.8	2,869	19.3

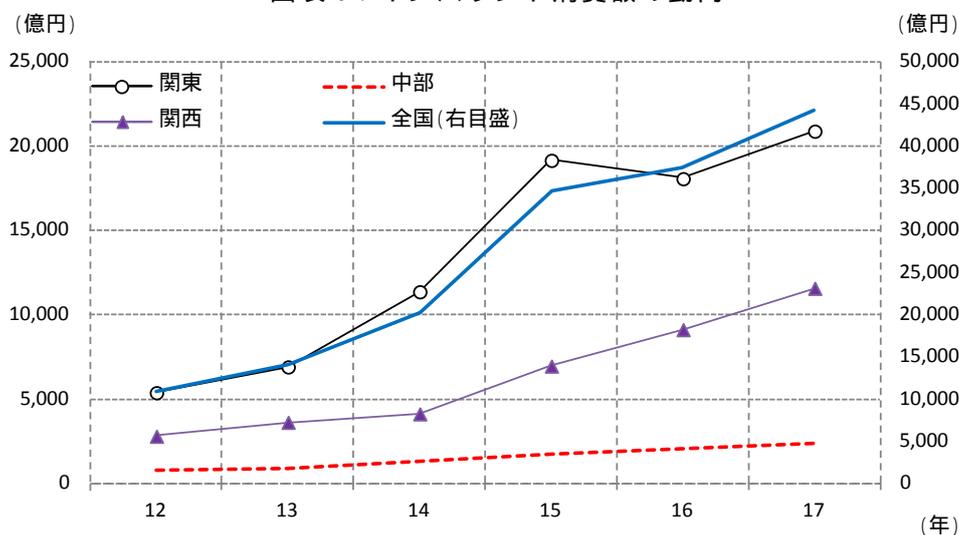
<sup>2</sup> 全国の2017年のインバウンド消費額の確報値については、観光庁が3月末頃に確報値として、別途、公表する予定である。本稿では、2017年の四半期値を合計した速報ベースでの地域別インバウンド消費の動向を推計する。

## (2) インバウンド消費額の動向

2017年の全国のインバウンド消費額の伸び率は前年比で+17.8%と、16年の同+7.8%に比べ伸びが拡大した。一方、17年の関西のインバウンド消費額伸び率は、同+26.8%と16年に比べれば鈍化したものの全国の伸びを上回っており、依然高い伸びを維持している。金額は1兆1,584億円と初めて1兆円を突破した。

2017年に関西を訪問した外国人によるインバウンド消費額を府県別に見ると、滋賀県が前年比-2.0%の38.4億円、京都府が同+14.5%の2,331.2億円、大阪府が同+33.3%の8,708.9億円、兵庫県が同-8.5%の292.3億円、奈良県が同+2.3%の144.9億円、和歌山県が同+9.8%の68.5億円と推計される。

図表9. インバウンド消費額の動向



(出所)日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。全国は観光庁公表値。

図表10. インバウンド消費額の動向(府県別)

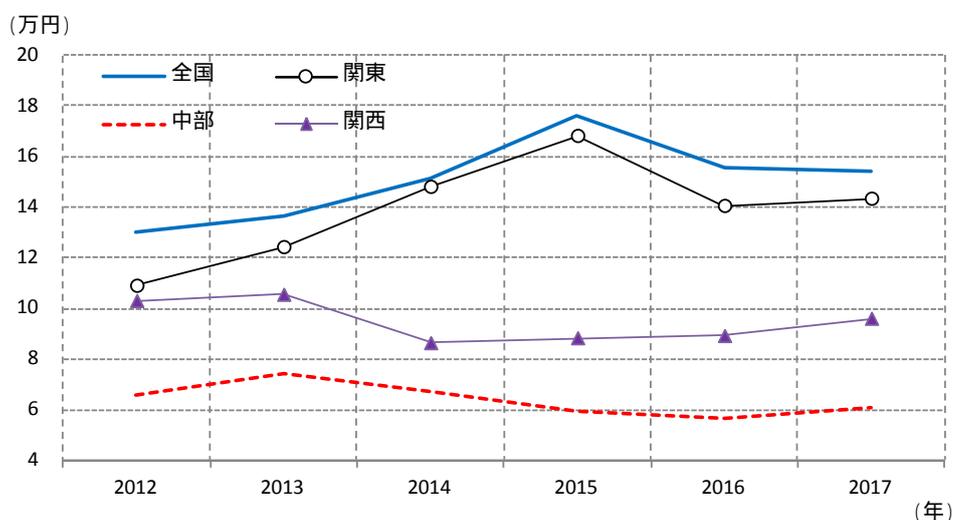
(単位)	2013年		2014年		2015年		2016年		2017年	
	実数 (億円)	前年比 (%)								
滋賀県	42.6	114.9	33.0	-22.5	47.9	45.2	39.2	-18.2	38.4	-2.0
京都府	1055.8	52.7	1133.7	7.4	1867.6	64.7	2036.8	9.1	2331.2	14.5
大阪府	2017.8	17.2	2420.3	19.9	4495.7	85.7	6533.3	45.3	8708.9	33.3
兵庫県	373.8	29.0	359.0	-4.0	410.6	14.4	319.5	-22.2	292.3	-8.5
奈良県	80.8	22.0	102.2	26.5	101.5	-0.7	141.7	39.6	144.9	2.3
和歌山県	66.7	180.6	89.5	34.2	48.6	-45.7	62.3	28.3	68.5	9.8
関西地区	3,637	29.4	4,138	13.8	6,972	68.5	9,133	31.0	11,584	26.8
関東地区	6,923	28.3	11,380	64.4	19,172	68.5	18,085	-5.7	20,902	15.6
中部地区	931	21.2	1,327	42.5	1,756	32.3	2,038	16.1	2,390	17.3
全国	14,167	30.6	20,278	43.1	34,771	71.5	37,476	7.8	44,161	17.8

### (3) 一人あたりインバウンド消費額の動向

インバウンド消費額を訪日外国人数で割った一人あたりインバウンド消費額（消費単価）は、2017年は、全国で前年比 - 1.3%の 15.4 万円となった。関西は同 + 7.6%の 9.6 万円と 3 年連続の増加となったが、水準では全国を下回る状態が続いている。

2017 年に関西を訪問した外国人の消費単価を府県別に見ると、滋賀県が前年比 - 19.6%の 2.1 万円、京都府が同 + 1.9%の 3.1 万円、大阪府が同 + 12.8%の 7.8 万円、兵庫県が同 - 13.6%の 1.8 万円、奈良県が同 - 19.2%の 0.7 万円、和歌山県が同 - 7.2%の 2.0 万円と推計される。関西観光の拠点となる大阪での消費単価の上昇が、関西全体での消費単価の上昇に寄与している。

図表 11. 一人あたりインバウンド消費額の動向



(注) インバウンド消費額を訪日外国人数で割ることで求めているため、公表値と異なる。  
 (出所) 日本政府観光局 (JNTO) 「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁 「訪日外国人消費動向調査」をもとに MURC 推計。

図表 12. 一人あたりインバウンド消費額の動向 (府県別)

単位	2013年		2014年		2015年		2016年		2017年	
	実数 (万円)	前年比 (%)								
滋賀県	5.9	25.8	3.3	-44.8	3.7	13.4	2.6	-28.7	2.1	-19.6
京都府	5.4	12.7	3.9	-28.4	3.9	0.6	3.1	-20.4	3.1	1.9
大阪府	7.8	-9.3	6.5	-16.6	6.3	-3.1	6.9	10.8	7.8	12.8
兵庫県	5.8	-4.7	4.3	-25.7	3.2	-26.6	2.1	-32.7	1.8	-13.6
奈良県	1.8	-23.9	1.5	-13.0	1.0	-36.2	0.9	-12.8	0.7	-19.2
和歌山県	4.9	77.3	4.5	-8.1	2.1	-54.2	2.2	5.0	2.0	-7.2
関西地区	10.5	2.4	8.6	-18.1	8.8	2.3	8.9	1.0	9.6	7.6
関東地区	12.4	14.0	14.8	19.2	16.8	13.6	14.1	-16.4	14.3	2.0
中部地区	7.4	13.2	6.7	-9.8	6.0	-11.2	5.6	-5.9	6.1	8.6
全国	13.7	5.3	15.1	10.6	17.6	16.5	15.6	-11.5	15.4	-1.3

## (参考文献)

- ・藤田隼平 塚田裕昭 (2015)「近畿地域におけるインバウンド消費の現状と見通し」三菱UFJリサーチ&コンサルティング調査レポート

## - ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。